



AOMORI・IWATE・MIYAGI・AKITA・YAMAGATA・FUKUSHIMA

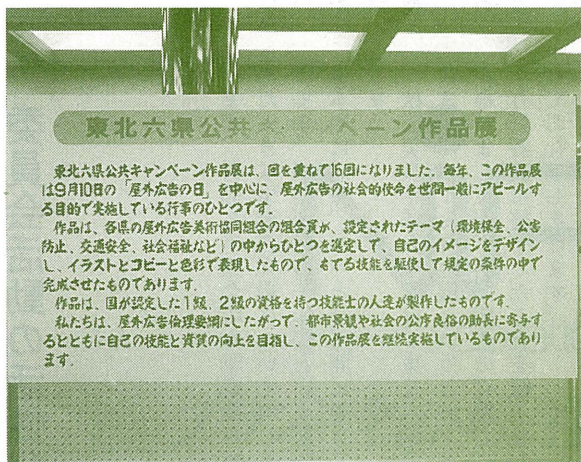
第5号

発行所
東北地区屋外広告美術業組合連合会
情報文化委員会
事務局 TEL 022-257-0437

第16回東北六県公共キャンペーン作品展 秋田路に技咲く作品の華!!

建設大臣賞 福島 (株)クリエイティブダイワ

■期日 平成5年10月15日(金) 16日(土) 17日(日) 3日間 ■会場 秋田市アトリオン地下イペンド広場



審査講評

秋田大学教育学部教授 横山智也

『第16回東北六県公共キャンペーン作品展』が秋田市のアトリオンを会場にして開催された。展示された全作品が一望できる、鑑賞しやすい会場構成であった。東北各県から選抜されているだけに、作品のレベルが高く、入賞作品の選考は最後まで苦労した。

環境問題をテーマにした作品が多くなり、交通事故防止、麻薬撲滅等をテーマにした作品は減少している。環境問題に関しては出品者だけではなく、市民の意識も高く、見方は厳しい。したがって、その扱い方が市民の意識よりも高くなければ市民は納得しない。自然保護であれ、海洋汚染であれ、的確でしかも簡潔な表現にしなければ説得できない。福島国体をテーマにした作品が優れていたのは、福島で国体が開催されることが、制作者の創造意欲を駆り立て、素晴らしい作品にしたことがこれを証明している。

建設大臣賞 「友よ ほんとうの空に とべ!」(株)クリエイティブダイワ 福島)は、平成7年度に開催される福島国体を扱った作品である。二色の背景に躍動するイラストをアウトラインの色を塗り分け、装飾的な曲線を添えて躍動感を強調している。造形的な処理とレイアウトに感性の豊かさを感じさせる。

日広連賞 『「自然と人間の共存」を考えよう』(小林看板店、秋田)は、黄橙の地色にヤドカリをぼかしの技法を用いて描写しているが、その技法は巧みでまさにプロの技と感心した。ヤドカリに施された曲線の意図が分かりにくいという難点はあるが、キャッチフレーズ、イラスト、コピーのレイアウトが優れている。

地区連会長賞 「緑のおふる」(有)フジコーポレーション、秋田)は、図鑑から飛び立とうとする蝶を立体的に表現している。丹念な作りの蝶は好感がもてる。「環境チョウ」の語呂合わせはおもしろい。ただ「緑のおふる」とした意図を説明するコピーがほしいこと、全体のレイアウトに一工夫ほしい。

優秀賞 「地球環境を守ろう」(株)オオウチ工芸、宮城)は、長生きの象徴である亀の最後の一匹が危機に瀕している様子を、甲羅を地球に見立て表現したアイデアがよい。亀は丹念に作られているが、地球の色が概念的であり、コピーに一工夫ほしい。

優秀賞 「自然がいっぱい福島県」(株)アーム工芸、福島)は、鳩や森の描き方、「ふくしま」印のチューブから現われた虹や窓の作り方がよく、ほのぼのとした作品である。ただ、厳しいレイアウトがあってそれが強調されてよくなる。

優秀賞 「青い空：青い海：白いかもめ：それは人間の願い」(株)大伸、秋田)は、立体絵画のような風景である。カモメと岩礁、それに雲と空を飛ぶカモメの作り方が巧みで楽しめる作品である。コピーの大きさ、レイアウトに工夫がほしい。

優秀賞 「地球は人間だけのものか」(有)タケダかんばん、山形)は、地球の緑にコピー、宇宙の青地に地球の宇宙船が丹念に描かれている。コピーを簡潔にし、レイアウトにも一工夫あれば訴求力のある作品になるだろう。

奨励賞 「子孫を残せるか」(株)ニッタ美術工芸、青森)は、昆虫の生態観察箱を見ようという作品である。作り方が素晴らしいだけに、文字の大きさと色、それにレイアウトに工夫が足りなく、昆虫観察ができなくなることが残念である。

奨励賞 「食料も資源」(有)大井看板、山形)は、骨太のイラストが目を引き作品で、冷害に見舞われた農民の声を借りて、食料問題をテーマに取り上げている。会話文字と「食料も資源」を小さくすれば、空間が生きてもっと良くなったと思う。

奨励賞 「ふくしま国体」(有)ハタヤ美芸社、福島)は、サッカーをする人が8色の背景に描かれている。イラストはいいが、斜めに置かれた背景のグラデーションと平行に書かれた文字に難点がある。文字を斜めにしたため可読性に欠けるからである。

奨励賞 「自然愛護」(有)サン・コア、福島)は、鏡を使い、丹念に鳥と蝶とトンボを描いた作品である。イラストは評価できるが、鏡を使う必要性を感じられないこと、作者は何を訴えたかったかが、伝わってこないことが残念である。

奨励賞 「広がる白い粉の恐怖」(株)ニッタ美術工芸、青森)は、覚醒剤の恐ろしさを訴えた作品である。覚醒剤は恐ろしく、常用者の世界も暗いものであろうが、作品が陰鬱になると、見る方がつらい。発想の転換をはかることが大切だと思う。

青森県における業界の課題と情報化

青森県屋外広告美術協同組合

理事長 千葉裕

産業技術の進歩が広告産業に与えてきた様々な影響は、当然のことながら青森県の屋外広告業界にも多大の変化をもたらしてきた。

全国レベル以下の小規模性や、職人氣質の業者を多くもつ青森県にあって最新の素材や、機器は経済的にも技術的にも馴染み易いものではなかった。もちろんこの事は、情報量の多い現在に於いても同様の傾向にある。

10年、20年という永いスパンで見た場合、産業技術の進歩や、それに伴う経済の成熟は他県以上に深刻な構造変化をもたらしてきた。

従来型の非生産的な作業に明け暮れた職人氣質は次第に新しい素材を使った媒体に、その領分を犯され、受注の減少や、従業員の離反に悩み、反対に積極的な展開を試みる業者もその経営基盤の貧困のゆえに資金不足、新技術に対応する人材難などに苦しんだ。

対応しきれなかった企業は更にその規模を縮小したり、廃業に追い込まれた。昭和45年協同組合発足当時一二〇余名を擁した組合も最近では九〇名程に淘汰され、なおそのような状況は継続しつつある。

他県、特に大都市圏などの組合が経済の成長と共に拡大しつつあることと比べると、県内業界の体質の弱さが目立つ。

例えば、青森県に於ける屋外広告業者の企業規模は個人企業が60%であり、全国レベルの40%に比べ圧倒的に多い。また従業員数でも約75%が五人以下の企業で零細である。

このように、県内の業者は設備、資金、人といった、所謂、経営資源の乏しい経営を余儀なくされており、その脆弱さが低資金、人材不足、受注量、受注額の減少に拍車をかけて過当競争に走らせ、基本的に弱体な体質をさら

に助長している。

もとより、屋外広告業界は全国的にみてもこのような小規模な経営が多いわけであるが、青森県のそれは特に多く、業界のもつ後進性(例えば下請け的性格)が顕著で、他県に比べて積極性に欠け停滞感を煽っている。

当時のことながら、かかる状況にある業者がその社会的な係わりをもつところの、都市景観問題や、公衆に対する安全工事などに関心が薄れ、広告倫理などの社会的な責任感も今一つである。

青森県屋外広告業の課題としては、このような企業の経営体質を如何に克服してゆかに尽きる。

付加価値、原価管理など経営面を合理化してその小規模性をカバーし、人材の確保や養成に腐心して、高級化、多様化するクライアントのニーズに応えなければならぬ。新しい広告素材の知識、新技術、デザイン感覚の涵養など、受動から能動への提案型の企業姿勢が必要であり、地域社会への積極的な参画によって社会性を昂揚する努力も怠ってはならない。

このような課題を考える時、「情報化」が大きな意味をもつてくることは疑いない。今日、情報化社会と言われ、社会環境の変化に伴って多くの業界がその対応に迫られている。人的、物的資産、資金の外に、「情報」が経営資源として重要な位置づけがなされ、「情報化」による企業経営改善が進み、国や自治体も「情報化支援」を積極的に推進して中小企業育成に力づい寄与をしている。

当組合でも平成4年度、中央会の補助事業であるところの組合情報化促進企画調査事業を実施し、組合あるいは所属員の情報化の方向付けを検討したところであるが、その一歩を踏み出す今年には重要な時期となるであろう。

委員会活動の活性化を

秋田県屋外広告美術協同組合

理事長 石黒征幸

まず、冒頭に当組合の昨年度取り組んだ大きな事業の経過について申し上げます。組合運営の一年間という期間は本当に短く、アツと云う間に過ぎてしまう。

秋広美の平成5年度は、東北六県公共きんペーン作品展というイベントがありました。各県組合のご協力により好評裏に終了したことを紙上をかりてお礼申しあげます。

さて、秋広美にとってはここ何年間か経験のなかったサイン工事の組合受注という事業が、前年度から引き続きの大きな事業として取り組んでおります。この事業は秋田県が県南の都市横手市に建設面積十六ヘクタール、総事業費一六五億円という規模の「秋田ふるさと村」がそれでありました。この村内に設置される誘導サイン等の工事受注に当たって、いろいろ努力の結果、受注が決定、他県の例を参考に組合員への発注もスムーズに、本年三月二十日の竣工を目途に現在現場作業に取り組んでいる最中でありました。

秋広美組合員の技能を尽くしての製作が「秋田ふるさと村」に来訪する人達の目を引くこと請け合いと自負しております。この協同受注と云って、い事業に取り組むことにより、平常は出合えなかった組合員同志の触れ合いが醸し出されたこともこの事業の複合的效果であります。

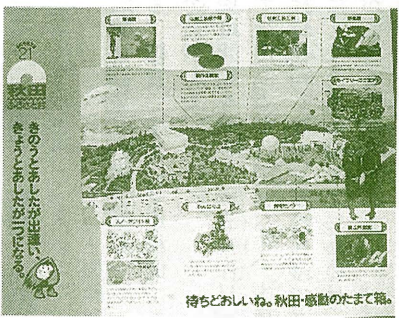
同村は四月開村となりますので是非ご観覧にお立ち寄りになり、私共のサイン工事のご批評をいただければ幸いです。

ところで、長期に及ぶ平成不況は出口が見えないまま暗いトンネルの中にありますが、このような状況下にある経済界を、識者の言を借りれば、所謂企業のリストラが当面続けられると思われ、政府の景気対策を見込んで設備投資は大きな増加はなく、

個人消費の回復も大して期待できない。全体としてゼロ成長に近い状態が続くと予測しております。このことからすれば、わが業界の今後の予想は容易なことでは、経済動向の向い風をもろに受けることは火を見るよりも明らかかとあります。

そこで、各県組合を含めて言えることですが、東北地区連としての事業活動の活性化を要望したい。各委員会がそれぞれの事業計画に基づいて、中央の動向を伝達するだけの委員会ではなく、各県単位の委員会とタイアップして現実を見詰めた、実のある活動を展開することが、いま各組合にとって最も重要な課題であり、組合員の渴望しているところであります。

現下の経済状況の中で、中小企業が発展を続けるためには、経営資源の有効活用、事業のリストラに真剣に取り組む必要があることは前にも述べたとおりですが、見方を変えれば不況の時ほど事業を見直すチャンスとも言えるわけです。事業の中の強い部分、弱い部分をはっきりするから、どこを伸ばし、どこを補強すべきかを考える絶好の機会とも云えると思えます。しかし、そのきっかけをつかむことはなかなかむずかしい問題であります。大方の組合員のそうした問題点に応えることができこそ組合の存在意義があり、価値を高めることになるものと思えます。



「秋田ふるさと村」へどうぞ!!

主な取扱い商品

- 板 樹脂 樹 脂 板
- 板 化 ビ ニ ー ル 板
- 板 ネ ー ト 樹 脂 板
- 製 品
- 丸 棒
- パイプ、
- コーリアン (人工大理石)
- ワ ー ロ ン (プラスチック和紙)
- ク ク
- ッ シ ー
- カ カ
- 部 部
- 資 資

東北藤光(株)

宮城県仙台市宮城野区福田町南一丁目 2-46

TEL (022) 254-0611(代)
FAX (022) 254-0608

山広美のすがた

山形県屋外広告美術協同組合

理事長 田中滋郎

平成6年新しい年を迎え、本年もよろしく指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。昨年は長引く不況による消費の低迷と冷夏長雨による稲作の深刻な被害により東北地方はまれに見る大打撃を受け、社会全体の景気が不透明な年であり会員各位におかれましては不況風を受け厳しい対応を行いながら今日まで業に邁進した昨今ではないかと思われまふ。我が広告業界は永続性が大切であり、良い時は驕らず・悪い時は挫けず、組合活動に専念したいと思っております。

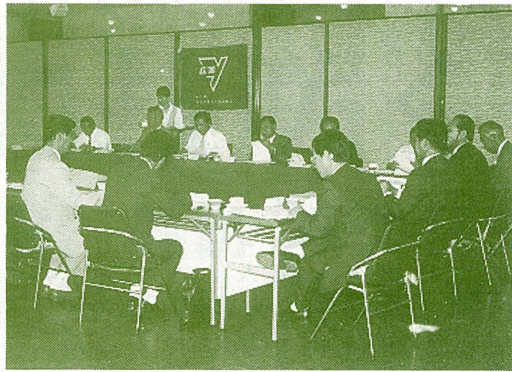
山広美は購買事業収益により、会員相互親睦を主とし日広連・東北地区連・単組の事業に基づき活動を行い、業界が提唱している屋外広告業の確立に向かって活動している所です。山広美を省みるにばな国体後の業界の業績も国内の情勢低迷と同じく大幅な



屋外広告の日キャンペーン



恒例の親睦ボウリング大会



H5 行政側の懇談会

第一回福島県都市計画フォーラムに参加

福島県情報文化委員長

黒沢 功

三月五日、郡山市熱海町の「ユラツクス熱海」で第一回福島県都市計画フォーラムが開催され、本組合から篠崎副理事長(株)アルス・プログレス)がパネラーとして討議に参加した。これは福島県と福島県都市計画協会の主催によるもので、開催の趣旨は次のとおり。

①都市づくりには、単に良好な市街地づくりといった面だけでなく、生活圏の最も重要な役割を担う中心拠点づくり、すなわち定住の条件としての都市機能の集積を図ってゆくことが、いま求められている。あらためて都市計画の重要性が再認識されるゆえんである。

②そこで、都市をめぐる様々な問題を取り上げ、都市計画の今後の進むべき道を探り、討論し、研さんを積むことを主眼として、「都市計画フォーラム」を毎年、継続的に開催することにした。

③今回は「都市計画フォーラム」の第一回目として、「都市景観とは創るもの」をメインテーマに企画された。フォーラムでは、はじめに郡山建設事務所長があいさつし、「都市づくりを考えることは現代社会を見つめることと同じ。県も都市景観対策に力を入れている」と述べたあと、福島大学行政社会学部の鈴木教授(専門分野は地域計画、住宅政策)が基調講演に立ち、日本の都市計画がこれまで自動車への対応をポイントに整備されてきた傾向があることに触れ、合理主義・効率主義で形づくられてきた都市が、現在では精神面で逆に「貧困化」している指摘し、景観の形成には心地よさやデザイン以外に、自然環境の整備なども重要である、と主張した。

ついで、三春町長が「わが町の都市景観」、県都市計画課が「うつくしまふくしま都市景観プラン」をテーマに事例発表をしたあと、「都市行政と都

市景観」をテーマにしてパネルディスカッションが行われた。

パネラーとしてデイスカッションのメンバーに招かれたのは次の六氏で、それぞれの立場から意見を述べたが、篠崎氏は、景観形成のために屋外広告が担うべき使命は何か、また、その施工面を直接担当するわが業界の立場はどうかについて、屋外広告物が本来持っている機能という言わば業の原点に立ちかえった上での提言を展開し、注目された。

- ①コーディネーター 鈴木 浩氏(福島大学教授)
- ②パネラー 伊藤 寛氏(三春町長)
- 大橋 謙一氏(国営みちのく森の湖畔公園工事事務所長)
- 橋 伸興氏(都市計画 コンサルタント)
- 野口 邦彦氏(郡山市都市開発部 次長)
- 篠崎 賢一氏(福島県屋外広告 美術協同組合)



「組織の活性化」一考

岩手県屋外美術協同組合

理事長 高橋 徳一

組織の活性化ということとは、よく耳にする言葉である。これは裏をかえせば、組織が沈滞しているということの現れであると言われても止むを得ない。

もっともかなり活発に活動している組織でも、今よりも組織を活性化したいと願っている場合もある。そこで組織の活性化とは、どういうことなのか、考えて見る必要がある。活性化とは、生き生きしている状態のことを言うのだと思う。

組織とは読んで字のごとく、組んで織るのであるから、おそらく織りものからきた発想と思う。

糸というものは一本一本は細くて弱く切れやすいのだが、束になってロープになったり、組み合わせられて布になると非常に丈夫になる。したがって、ひとり、ひとりが寄り集まって一つの全体を構成し、ある目的のために行動をおこすことのできるものを「組織」と定義してよい。

この組織をある目的のために動かして行くための仕組みが「単組であり」「地区連であり」、「日広連」である。その仕組みで一番大事なものは、コミュニケーションではないだろうか、コミュニケーションではなだらかなコミュニケーションの活性化にはかならないのである。

では、コミュニケーションの活性化とは、何かとなると日頃の疑問や関心事を十分に話し合うということになる。

十分な話し合いによる意志統一とは何かということになれば、それはお互いに納得のいくまでの話し合いと、裏のない本音の話し合いが必要である。形式的なうわべだけの本音と建前を巧みに使わけて話し合っている限り何時間かけても不毛な話し合いに過ぎない。それでは本音の話し合いとは何か、それは誰に気を使うこともなく、

自由に安心して言い合えることである。本音を言って反感をもたれたり、り返しされることのないという安心感、つまり信頼されるという保証が必要になってくる。

「もの言えば唇寒し」、「言はぬが花」と不平不満を陰でこそこそうとうでは、もっとも不健全である。本音を自由に話せる土壌をつくるのが組織の活性化には一番重要な大前提である。

コミュニケーションとは、交通機関と同じように行ったり、来たり往復するのが常である。人間の口が一つで耳が二つあるのは、しゃべる倍だけ聞きなさいと先人は教えている。

とくに地位が高くなればなるほど、人の話を倍も聞くという姿勢が重要になる。

したがって他人の意見とか提案、苦情などに真剣に耳を傾け、それを理解し、実現しようと努力している組織は、一般に活性化している組織といえる。私たちは毎日不自由なくしゃべっているのにコミュニケーションは簡単だと思われ方もあるが大変むずかしい。

コミュニケーションの活性化がむずかしいということは、また組織の活性化も口で言うほど容易でないということである。

※サインズ・イン・ジャパン購読者募集! ￥1,100、三六〇円(年間予約購読料)消費税込送料共各単組事務局へお申込み下さい。

明日の為に!

宮城県屋外広告美術協同組合

理事長 狩野 壽一

時は、生きている。ということを実感した一九九三年!政局も経済も混迷の度を深め、そのまま一九九四年へ移行してしまいました。あたかも一九七三年一〇月に起きてオイルショックを引き継いだ年の様であります。初めて経験したオイルショックは、世界に埋蔵している資源や、地上で生育している資源、あるいは生産される資源を含めて、その有限性を知らなかった年度でありました。翌年の一九七三年は、品物薄から多くの品物が高騰し混乱を致しました。その為に経済不況も起こりました。然しこんな時代でも、生長する職種はあった訳であります。

時は生きていく限り、職種にも新陳代謝があります。ちょっと油断すると淘汰されることになり得ます。淘汰されるということは、そのオーナーが、一人よがりであったり、時代のニーズは対応する為の研究不足が原因になることが多いと云われます。ですからオーナーはオーナーとして、時の流れに对应出来る業体として、自ら試行錯誤を繰り返して行かなければ生き残れないのかも知れません。とは云っても早まった先取りよりは、少しずつの変化が大切であります。

先見性を具備しているはずの経済の専門家も、そして世界の動向を知っているはずの政治家も、遠い先の(例えば一〇年後)予測は、困難な時代に入っていると云います。

それは、今すぐ処理しなければならぬ問題が、次から次へと起きて来ているからであります。今の連立の政府の様にあります。私達業界も、長年に渡る少しずつの変化が30年も50年も経った現在、大きく変化を致しました。「看板と塗装」から、各々が独立し、専門化され、更に看板分野でも細分化され、それぞれが専門職種として認知されているようでもあります。経済や文化、そして生活の向上がもたらした結果でありましょう。

この様な時代に生きることの楽しさは、それぞれが日課とする職業を、向上させる為の今であると認識し、行動することが大切であります。ということは、看板業者として、オールマイティと云われる人は少なくなっているからであります。(大工仕事が出来て、あらゆる塗装が出来ると。絵も上手で文字に経営が出来ると。という人)大都会の業者の様にそれぞれが分離して専門化されて来ている現況は、それぞれの高度な思考と技術が必要になった為であると思えます。この様な状況の中での組合組織は、より強化されて行かなければなりません。組合強化は、組合員同志のより一層の交流と共に、切磋琢磨が必要であります。切磋琢磨をする為の親睦会や合同支部会なども有効な手段かも知れません。

ともあれ最悪だった昨年であったとしても、生き抜いて来たわけでありませう。組合組織の強化は、個々の事業所の強化であり、個々の事業主のいつも新鮮な英知であります。組合は皆さんの英知を結集して、われわれ業界の向上を進展に邁進しましょう!素晴らしい明日の為に!であります。

でしたが6名の参加で実施しましたところ組合機関紙への原稿依頼がありましてので参加者にレポートを書いてもらいました。

実施日 平成5年9月25・26日 (2日間)

視察地 東京
内容 サイン・ディスプレイ
ショールーム、フジタバコ、セゾン美術館、渋谷街並及びサイン、江戸博

◎副会長 アベ工房 阿部 健

「フジタバコ本社ビル フジタバコ」(アミューズメントパーク) バンテは、1階に広いロビー・売店2階にギャラリー、地下1階にアミューズメントパークがある。

広いロビーの中には遊び心いっぱい空間が広がる。椅子は総革張り、水槽には、黒いノコギリがいた。トイレに入って「あっ」と驚く、総ガラス張りの男子トイレ、外が丸見えで用をたすと同時に正面のガラスに水のスクリーンができる水洗トイレである。ちなみに、外からはマジックミラーで見えなかった。

2階ギャラリーでは、「ロンドンからくり玩具展」、お茶を運ぶ日本のからくり人形の実演もあった。ロンドンの人形ももともとは日本のからくり人形のコピーから始まったらしい。

ギャラリーより吹き抜けの傾いた螺旋階段を降りて行くと地下アミューズメントパークがある。パークには、シュミレーションシアター(コンピュータ画面の中の2次元議事体験)、レーザー光線ゲーム、自分の顔パズル、ロボットの操縦といろいろ体験出来る。グッドでした。

多くの企業本社ビルに、このようなアミューズメントパークがあり総て無料だそう。遊び心の空間からイロイロな生活に溶け込んだデザインが生まれ製品になってゆくのだろう。考えさせられる所だった。

◎会計 桜井看板 武田 裕之

「青年部研修会に参加して」
サイン・ディスプレイショーに関するですが、各メーカーの情報が事前に入ってきていることもあって、目新しいものがなく、今一つ新鮮味にかけた感がありました。その中であってシステムサイン関係は、私にとって興味深く各メーカーも力をいれているように感じました。

私も山形でシステムサインを、とも考えますが「看板屋」の範囲では規模、機動力、資金、その他もろもろ考えるだけで「ためいき!」です。

しかし、「看板屋」もブレインシステムで、ある程度クリア出来る部分があるのではと考えています。資料ブレン、技術ブレン、それらをBBS+Choiceでプロデュースする。

それには、サイン設計などにも積極的に参画しながら自己の資質の向上を目指さなければと思っています。

◎監査 くまがいスクリーン 熊谷 幸次
「私の研修会参加記録手帳より」
「百聞は一見に如かず」とよく言われますが、活字だけの知識や長年の何とかやらは、無知の証明のようなものだと思えます。

何がどんなふうにならう役立つかというよりも、都会のなま温かい空気を吸っただけで明日から又ガンバろうという気持ちになり、大変意義のある研修会だったと思えます。

追記(編集手帳)
「研修会あるところにて」
私は、シルク印刷を13年もやっておりますが、カラーコピーの転写のシルク印刷の区別もつきませんでした。反省!

こんなことではないのでしょうか? 「よくない」という思いと「それがどうした」という思いとが四分六割くらいでグルグルしています。

◎監査 (有) タケダかんばん 武田 敦行
「青年部研修旅行に参加して」
貿易センタービルで開かれていたサイン・ディスプレイショーでは、目新しいものや、即活用出来ると思われる資料があまりなかったというのが率直な感想でした。

その中であって、これはおもしろい、便利だ。と思われるものもあり、メーカーの係員の説明を求めてみると、コスト的に割高なものが多く、使ってみるには二の足を踏んでしまうものが殆どで少々残念でした。

これからは、資材面でも、技術面でも、メーカーからの一方通行ではなく我々ユーザーの立場から意見や要望などを提供し、お互い理解し合う機会を持つことも大変重要になって来るのではないかと考えています。

近年カッティングマシンが多く活用されてますが、今回視察した資材展でもそれに拘わるものが目立っており、現に昨年本県開催の国体での我が業界の仕事のうえで、それが大きな働きをしたことは我々の記憶に新しい所でしょう。

これからの業界ビジョンにおいてもコンピューターなるものを切り離して考えられないものになることは意見が一致するところで、二〇〇〇年に向けて、常にそれを使う側にいなければならないと思っています。

ややもすると機械に振り回されることもあり、どんなふうにならうとつきあいついてゆかかが、次代を担う青年部の大きな課題ではないかと思っております。

◎事業担当委員 (有) 京野工業 京野 秀明
「青年部研修会に参加して」
日頃遠くへ行く機会の少ない私にとって、東京の先進地視察及び広告物の視察ということで楽しみにしながら参加させていただきました。

今回は、フジタバコやディスプレイショーそして渋谷付近を視察しました。屋外広告もここまで来たのかというものがばかりで、本で見るとは違った雰囲気があり参考になる部分がありました。

看板について考えれば、単に文字を

表示すればよいと言うことではなく周辺環境との調和を考えた広告物が今後さらに必要になると思えます。

これからも積極的に参加し、青年部の交流の輪を広げて行きたいと思っています。

報告後記
青年部は、各種事業を積極的、かつ果敢に実行して行こうと努力しております。研修会事業については、常に自己研鑽と資質の向上のため、対外的に加盟している山形県中小企業団体青年中央会を通じて、この会の事業により多く参加し、独自の事業では不可能な講演会や異業種交流に努めております。

部長の私も本年度より青年中央会の副部長を努めており、この会の企画立案に携わっております。

これからもより良い青年部組織を目指し、勉強努力をして行きますので組合員の温かい励ましをよろしくお願い致します。

各委員会開催報告

情報文化委員会 参加人員八名
六月十五日 仙台市五ツ橋会館
事業厚生委員会 参加人員八名
七月十六日

技能開発委員会 参加人員九名
七月二十二日 秋田市弥高会館
行政対策委員会 参加人員八名
七月二十九日 盛岡市仁王会館
経営労務委員会 参加人員九名
八月十一日

組織振興委員会 参加人員六名
八月十八日 仙台市五ツ橋会館

日広連第三十七回 全国大会受け入れ準備 会議開催報告

第一回 参加人員十二名
七月八日 仙台市弥生会館

第二回 参加人員十一名
八月二十六日 仙台市五ツ橋会館

青年部研修会報告レポート

山形県屋外広告美術協同組合青年部

総括報告者 部長 ナカノ工房 丹 野 聖一

青年部は、平成5年度通常総会にて各種事業の実施について決議した中で、「県外での研修会事業の実施」という

決議事項があり今回それを実施致しました。
青年部13名全員参加とはいきませ

日広連第37回全国大会
シンボルマーク決定



〈入賞作品〉

- ・入賞 (株)アド広芸社 (宮城) 千葉 悟 氏
- ・佳作 (株)トーホク宣広 (宮城)
- ・佳作 アベ工房 (山形)

日広連第37回全国大会アピール用
キャッチフレーズ決定

- ・入選 (有)いづみ工房 泉 悦夫
来年は奥の細道 味のみちのく路でお会いしましょう
- ・佳作 (有)京野工芸 京野 利明
「詩情 人情 さわやか東北」
- ・佳作 宮広美事務局 市川 洋一
みちのく巡りは楽しい企画 みなさん待ってる 秘湯の里

〈東北地区屋外広告美術業組合連合会情報文化委員会〉

- | | | | | | |
|-----|-------|-----|-------|-----|-------|
| 宮城県 | 大友 敏夫 | 岩手県 | 鎌田 昌孝 | 山形県 | 古沢 龍一 |
| 青森県 | 伊藤 貞夫 | 秋田県 | 根田堅三郎 | 福島県 | 黒沢 功 |



ブランド名から、社名へ。
ニップコーポレーション誕生。

株式会社 ニップコーポレーション
仙台事業部

本社	〒171 東京都豊島区南池袋2-29-13	TEL (03)5952-5501(代表) FAX (03)5952-1051
仙台事業部(旧仙台吉村)	〒983 仙台市若林区大和町3-4-20	TEL (022)232-7411(代表) FAX (022)238-0271
東京事業部(旧東京吉村)	〒171 東京都豊島区雑司が谷3-13-5	TEL (03)3987-3361(代表) FAX (03)3987-4734
名古屋事業部(旧名古屋吉村)	〒454 名古屋市中川区澄池町21-19	TEL (052)362-2211(代表) FAX (052)362-9554
大阪事業部(旧マルヨシインテリア)	〒550 大阪市西区南堀江4-14-1	TEL (06) 541-4351(代表) FAX (06) 541-4350
広島事業部(旧広島吉村)	〒730 広島市中区光南3-9-28	TEL (082)244-5751(代表) FAX (082)244-5770
福岡事業部(旧ニップサンヨ)	〒815 福岡市南区大橋2-23-35	TEL (092)521-1521(代表) FAX (092)522-0591

私たちは、メーカーさんと共に
“お客さまを大切に”
サービスをモットーにしています。

主な代理店

- アサヒ金属(株)……スパンドレール
- 旭光電機工業(株)……イルミ各種サイン球
- 岩崎電気(株)……水銀灯、ハロゲンランプ
- 協和電工(株)……看板用蛍光灯ホルダー
- (株)三陽電機製作所……屋内・屋外ネオントランス
- 立山アルミニウム工業(株)……アド・フレーム
- (株)中川ケミカル……タフカルフィルム、カッティングシート
- 筑波ウシオ電機(株)……ストロボ、フラッシュランプ!

ネオン、看板用電設資材全般

阿部電材株式会社

本社/〒173 東京都板橋区弥生町72番8号
TEL 03(3974)4021(代) FAX 03(3974)4434
東北営業所/〒983 仙台市若林区卸町東5-7-29
TEL 022(288)1271(代) FAX 022(288)1273

看板・プラスチック資材・機材
塗料・塗装関連資材・機材

総合商社

株式会社

光彩塗料商会

本社	〒983 仙台市宮城野区東仙台四丁目3番43号	TEL (022)293-3151(代) FAX (022)293-3154
多賀城営業所	〒985 多賀城市中央三丁目7番5号	TEL (022)364-2921(代) FAX (022)364-2046
福島原町店	〒975 福島市原町市朱来字出口63番の3	TEL (0244)22-2836(代) FAX (0244)22-2875

— 皆様のニーズとサービスを求めて —

看板資材総合商社

株式会社 弘栄産商

代表取締役 武田 龍生

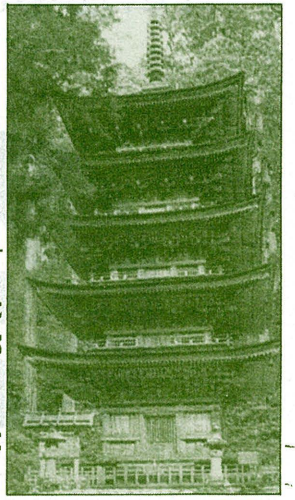
〒983 仙台市宮城野区東仙台5-38-16
TEL 022-295-2255 FAX 022-295-2257

第37回 日広連全国大会ご案内 (案)

来年は、奥の細道、味のみちのく路でお会いしましょう。



平成7年6月6日(火)

- 大会 / 宮城県松島町
- 懇親会 / 宮城県松島町
- 主催 / 観全日本屋外広告業団体連合会
- ホスト / 東北地区屋外広告美術業組合連合会
- ゴルフコンペ予定



きてけさい
みやぎへ!



鳴子・湯野浜・出羽三山コース  6/7 (水) 6/8 (木)	08:00 松島ホテル大観荘 09:30 瑞巖寺 10:30 松島海岸 11:30 湯野浜温泉(泊) 12:00 泉I.C. 13:00 鳴子温泉(昼食)
東山温泉・会津鶴ヶ城コース  6/7 (水) 6/8 (木)	08:00 松島ホテル大観荘 09:30 瑞巖寺 10:30 松島海岸 11:30 湯殿山 12:30 寒河江・チェリーランドさがえ(昼食) 13:30 グランドホテル(昼食) 14:00 寒河江I.C. 14:10 飯盛山 14:50 郡山I.C. 15:00 会津武家屋敷 15:10 会津城(鶴ヶ城) 15:30 東山温泉(泊) 16:00 仙台駅 16:00 仙台空港

●記入例 / バス ——— 船 ~~~~~ 徒歩

JTB
JTBトラベランド仙台卸町会館店
運輸大臣登録一般旅行業第10065号
 〒983 仙台市若林区卸町2-15-2 卸町会館 TEL. 022(239)8347

JTBグループ イベント&コンベンション
東北コミュニケーションサービス
 〒980 仙台市青葉区大町2-9-13ライオンズマンション西公園2F TEL. 022(262)5055(代表)

ホテル 松島 大観荘
 〒981-02 宮城県宮城郡松島海岸 TEL. (022)354-2161(代表)

おんやど 御宿 **東鳳**
 〒965 福島県会津若松市東山町 TEL. 0242(26)4141(代表)